

トマトの葉から病害の有無を確認する阿部さん



【石巻市】石巻市釜の阿部貴博さん(39)は、地元の農業法人の勤務を務める傍ら、個人の園芸施設でトマト(10坪)とコマツナ(5坪)を栽培する。

2004(平成16)年に就農した阿部さんは、「農業の先輩である父からは、詳細に教わるのではなく、

「目で見れば学ばなければならない」と言われ、苦学したと振り返る。幼いころから父の働く姿を見て、いずれは家業を継ぐことが務めだと考え、現在まで地元で活動を行ってきた。

収穫に迫れば、トマトの芽かきや雑草処理などの手入れが追いつかなくなった



きずなを大事に

石巻市 阿部 貴博さん



「手を掛けた分、成果が出る」と庄司さん

【加美町】「農業は、栽培のこだわりが収量や品質に表れる。努力の成果が収穫を通して見えるので、やりがいがある」とおもしろい」と話す、加美町中新田の庄司政信さん(39)。ふるさとを離れ東京で生活していたが、環境の良い田舎暮らしを考え、Uターンを決

【加美町】「農業は、栽培のこだわりが収量や品質に表れる。努力の成果が収穫を通して見えるので、やりがいがある」とおもしろい」と話す、加美町中新田の庄司政信さん(39)。ふるさとを離れ東京で生活していたが、環境の良い田舎暮らしを考え、Uターンを決

【加美町】「農業は、栽培のこだわりが収量や品質に表れる。努力の成果が収穫を通して見えるので、やりがいがある」とおもしろい」と話す、加美町中新田の庄司政信さん(39)。ふるさとを離れ東京で生活していたが、環境の良い田舎暮らしを考え、Uターンを決

【加美町】「農業は、栽培のこだわりが収量や品質に表れる。努力の成果が収穫を通して見えるので、やりがいがある」とおもしろい」と話す、加美町中新田の庄司政信さん(39)。ふるさとを離れ東京で生活していたが、環境の良い田舎暮らしを考え、Uターンを決



「栽培にICTを取り入れていきたい」と庄司さん

【登米市】「花には人を幸せにする力がある。農業を通して、生活を豊かにする手助けができればうれしい」と話す登米市南方町の庄司力さん(24)は、2016(平成28)年、実家で就農。施設23坪でキンギョソウやスターチスなどの花きを栽培する他、水稲3

【登米市】「花には人を幸せにする力がある。農業を通して、生活を豊かにする手助けができればうれしい」と話す登米市南方町の庄司力さん(24)は、2016(平成28)年、実家で就農。施設23坪でキンギョソウやスターチスなどの花きを栽培する他、水稲3

【登米市】「花には人を幸せにする力がある。農業を通して、生活を豊かにする手助けができればうれしい」と話す登米市南方町の庄司力さん(24)は、2016(平成28)年、実家で就農。施設23坪でキンギョソウやスターチスなどの花きを栽培する他、水稲3

【登米市】「花には人を幸せにする力がある。農業を通して、生活を豊かにする手助けができればうれしい」と話す登米市南方町の庄司力さん(24)は、2016(平成28)年、実家で就農。施設23坪でキンギョソウやスターチスなどの花きを栽培する他、水稲3

担い手たち

Part 1

地域の活力

県内の農業従事者の年齢構成を見ると、59歳以下の割合が全体の2割となっている(2015年、農林業センサスより)。ふるさとの原風景の維持や耕作放棄地解消のためには、担い手の確保が重要な課題となっている。今週号(2月2週号)では、ふるさとで活動する担い手にスポットを当て、農業への思いや決意、展望を聞く。



購読申込先

NOSAI 宮城
仙台市青葉区上杉
1丁目8番地10号
〒980-0011
電話022(225)6701
http://www.nosaimiyagi.or.jp/

減農薬で米作り

【村田町】「ホタルがすむきれいな地域環境を守りながら、将来を担う子供たちに安全な食料を届けた



食堂の前で商品を手に賢治さん(右)と長松さん

村田町 渡邊 賢治さん

い。おいしさを実感してほしい」と話す、村田町小泉の渡邊賢治さん(44)。父・長松さんが代表を務める「ほたる舞ファーム」(2003年設立)で、水稲2・6畝、ソバ4畝、露地とハウスでソラマメなどの野菜を栽培する。

同ファームでは、EM堆肥を使用して減農薬で「ひとめぼれ」を栽培。15(平成27)年に県農林産物品質評会で農林水産大臣賞を受賞した。

賢治さんは、妻・香織さんと「みがき玄米」を開発。この商品は、玄米の表面を磨いて、栄養価を残しながら食感を白米に近づけた人気商品だ。また、自宅に隣接した食堂「けんちゃん」

従来の方法にとられず、可能性を広げていきたいと意欲的だ。

また、地元の4日クラブ(農業青年クラブ)に在籍し、販売会や勉強会に参加する。

庄司さんは「同世代の間たちとの交流は農作業の息抜きになる。課題や技術情報を共有し、切磋琢磨して地元の農業を盛り上げていく。自分を育ててくれる人・地元に貢献したい」と話し、知識を深め、技術の向上に努める。

(浅野ゆ)



「みがき玄米」や「ほたる舞(ひとめぼれ)」

田園風景を守る

加美町 庄司 政信さん

【加美町】「農業は、栽培のこだわりが収量や品質に表れる。努力の成果が収穫を通して見えるので、やりがいがある」とおもしろい」と話す、加美町中新田の庄司政信さん(39)。ふるさとを離れ東京で生活していたが、環境の良い田舎暮らしを考え、Uターンを決

【加美町】「農業は、栽培のこだわりが収量や品質に表れる。努力の成果が収穫を通して見えるので、やりがいがある」とおもしろい」と話す、加美町中新田の庄司政信さん(39)。ふるさとを離れ東京で生活していたが、環境の良い田舎暮らしを考え、Uターンを決

【加美町】「農業は、栽培のこだわりが収量や品質に表れる。努力の成果が収穫を通して見えるので、やりがいがある」とおもしろい」と話す、加美町中新田の庄司政信さん(39)。ふるさとを離れ東京で生活していたが、環境の良い田舎暮らしを考え、Uターンを決

【加美町】「農業は、栽培のこだわりが収量や品質に表れる。努力の成果が収穫を通して見えるので、やりがいがある」とおもしろい」と話す、加美町中新田の庄司政信さん(39)。ふるさとを離れ東京で生活していたが、環境の良い田舎暮らしを考え、Uターンを決



と、「苦しいときに、仲間は縦横のつながりを大切に、先輩などのつながり考えてほしい」と話す。

(鈴木)